



秋保郷は東西およそ20km。私たちが中学生の頃は、友達の家遊びに行くときには自転車で20分以上かけていくのは当たり前でした。その道はアップダウンが少なく、車の往来が少ない農道ルートがメイン、周辺の景色など気にもせず走っていました。

あれから約20年、昔走った道を久しぶりにたどってみました。すると青々と広がる田んぼの美しさ、先人たちの祈りを伝える石碑、そして街道筋の集落をやさしく囲む山々の景観など、その素晴らしさに深く感動する自分にびっくりです。

車も信号も少なく街中では味わえない、ストレスフリーな自転車の旅、さあ、二口街道の脇道を西へと向かい、清々しい汗を流してみませんか。



秋保郷 いって みっぺ

秋保郷サイクリング

いってみっぺ 秋保 秋保郷サイクリング

企画・発行：秋保地域資源活用委員会・仙台市
連絡先：秋保総合支所総務課 (022-399-2111)
秋保市民センター (022-399-2316)

爽快な二口街道の脇道ルート
気持ちの良い風が頬をなでる
そこには四季の快心の風景と感動がある
本当の秋保を感じる自転車の旅



17 不動滝橋



絶景が広がる「秋保大橋」と「不動滝橋」、眼下に広がる峡谷美は、新緑や紅葉、そして雪景色と訪れる人々を魅了します。
秋保大橋から、名取川越しに臨む鷹巣山の眺めは、ここまで漕いできたペダルの重みを忘れさせてくれるような景観が広がるポイント。しばし時間をとって眺めるのがいい。
その先、不動滝橋からは言わずと知れた名取川最大の景勝地の一つ「秋保大滝」が木々の間から見えます。人力で訪れるものだけが感じることのできる清々しい空気が吹き抜けます。

19 釜淵



20 野尻旧足軽集落



藩政時代、二口街道の警備、治安維持を目的に配備された集落で、仙台藩郡奉行直属の在郷武装衆として活躍した歴史があります。仙台市で最も西に位置する集落でもあり、「野尻そば」発祥の地。初秋は、集落一面にそば畑が広がります。

22 秋保ビジターセンター

(折返し地点)
秋保街道を西へと向かうロードサイクリングの折返し地点、標高360m、三方倉山を配し下界とは違う澄んだ空気が冴える二口峡谷の玄関口。
大東岳や磐司をはじめとする二口山塊の魅力を知ることができるほか、休憩スペースもあります。清々しい空気をいっぱい吸って鋭気を養なおう。
(4月～11月トイレのみ年中無休)



15 森安



先が見通せないいくつかカーブを越えると、やがてパッと視界が開けたところにたどりつきます。森安という地域です。
遠くに形の良い三角の山「三方倉山」が見え、ここに広がる田園地帯は、秋保の美味しい米「秋保米」を栽培する場所の一つで、田植えや稲刈りの体験行事が行われます。

16 秋保大橋



14 沢口石碑群

田園地帯の高台に整理・整列され、今なお地域の人々に大切に守られている貴重な石碑群。
先人たちの暮らしや祈り、感謝が詰まっている秋保人らしい文化を垣間見ることができるポイントの一つ。



12 めがね橋(旧小滝沢橋)

秋保石ヶ森山の秋保石で作った二重のアーチ橋、二口街道の名所として人気があります。
馬場と長袋をつなぐ架け橋で、戦国時代は二口街道の要所としての物語を伝えます。



10 長袋幹線農道&大東岳



向泉寺を過ぎて、国道457号線を渡ると、大東岳に向かって走る一直線の長い道に出ます。秋保随一の圧巻の田園風景が広がる気持ちの良いエリアです。

11 大雲寺前&白岩



大東岳に向かって右手に見えてくるとがりしている山が水神を祀る「戸神山」、左手に見えてくるのが、切り立った白い岩肌が美しい「白岩」です。秋保随一の圧巻の田園風景が広がります。

9 境野彦隅

西境野に位置し、雄大な大倉山と楯山の風景が広がる秋保郷指折りのビュースポット、県道からは臨むことのできないすばらしい景観です。



8 境野東館前

ここからの景色は、藩政時代、愛子方面から板風峠を越えて秋保へと入り二口街道を西へ向かった旅人たちが見た風景と同じです。秋保郷の象徴、楯山城跡が街道の谷に鎮座しています。



7 境野中原分岐

県道62号線(二口街道)から、慈眼寺の看板を目印に、右へと入っていきます。このコースの魅力の明暗をわける最大の分岐ポイント、注意して走ろう。



6 羽山橋



橋のたもとには水洗トイレが設置されています。また、近くの階段から川原まで簡単に降りることができます。花見や芋煮のシーズンには大勢の観光客が訪れます。

1 秋保・里センター



(スタート&ゴール地点)
秋保の旅の出発点。秋保の様々な情報が分かるほか、レストランや足湯も併設されています。レンタサイクルも借りられます。
年中無休9時～18時(レンタサイクルは4月～11月のみ)

